

産業成長ビジョンの改定

- 令和2年12月に策定した熊本県産業成長ビジョン(期間：R3～R12)を改定します

<改定の必要性>

※ 重点的な取組みなどは3年間を基本として見直しを検討することとなっています

- ✓ 新たな県政運営の基本方針・総合戦略である「くまもと新時代共創基本方針及び総合戦略(期間：R6～R9)」(以下「新基本方針等」という。)の策定
- ✓ 令和3年11月に半導体受託製造企業の世界最大手であるTSMCの進出が決定
- ✓ 物価、原材料費、エネルギーコストの上昇や企業における人手不足など、目まぐるしく変化する経営環境に対応するためのサステナビリティの視点
- ✓ 新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置付けが5類に移行

<ポイント>

第1章 策定の趣旨

- ✓ 「くまもと半導体産業推進ビジョン」及び「UXプロジェクト基本計画」を産業成長ビジョンにおける特定の産業分野の計画として位置付ける

第2章 社会環境の変化と本県産業の活かすべき強み

- ✓ 経済安全保障の重要性、人手不足の深刻化と賃金水準の上昇といった社会環境の変化を反映
- ✓ 新基本方針等を踏まえ、本県産業の活かすべき強みを見直し

第3章 目指す姿と産業支援体制の強化

- ✓ 目指す姿の実現に向け、「産業支援体制の強化」について追加

第4章 重点施策

- ✓ 「UXプロジェクト」を重点施策に追加
- ✓ 企業の持続的な成長とカーボンニュートラルなどの社会課題解決に向けた施策を追加

第5章 ビジョンの推進

- ✓ 経済社会環境の変化を踏まえ「目標値(総括指標及び重点指標)」を上方修正